

## 紙芝居やクイズを通して学ぶ環境教育

伊藤波輝・大谷直寛・北村胡桃・柴田理沙・長尾歩実・花谷和志  
奥平夏海・古門優衣・坂口友理・櫻井杏子・溝口侑希・山内かれん  
時松洋希・中村晃大・中村こころ・藤城美穂・渡辺千菜都・今若舞・玉垣寛奈  
(兵庫県立大学環境人間学部 EHC 学生団体「いきものずかん」)



### 1. はじめに

いきものずかんは、子どもたちを対象に、分かりやすい環境教育を目指している兵庫県立大環境人間学部 EHC (エコヒューマン地域連携センター) 所属の学生団体です。西谷寛さん作の紙芝居「海と空の約束」、いきものずかんオリジナル紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」を用いて、姫路や神戸などの教育施設や水族館で活動するほか、博物館との連携活動、大学キャンパス内でのビオトープ再建活動など様々な活動をおこなっています。

### 2. 「海と空の約束」を用いた環境教育活動

「海と空の約束 (神戸新聞 mook)」は、明石市在住の絵本作家・環境教育コーディネーターである西谷寛さんが作成された、自然環境の大切さを伝え・考えるための絵本・紙芝居です。物語は「海」と「空」を擬人化して展開され、お互いに助け合いながら生き物達と暮らし友情を育んでいくという、子どもが興味を持ち、感情移入し易い話になっています。

いきものずかんではこの紙芝居の読み聞かせや関連するクイズを通して環境教育活動をおこなっています。



### 3. オリジナル紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」を用いた環境教育活動

2016年度、いきものずかんでは、第11回共生のひろばにて、NPO 法人人と自然の会かわせみの会のメンバーの方から声をかけていただき、人と自然の博物館の布野隆之先生にご教授いただきながら「ゆうたくんとイヌワシ」というオリジナル紙芝居を作成しました。この紙芝居を使うことで、子ども達に絶滅危惧種であるイヌワシの名前を知ってもらい、絶滅危惧種に興味を持つ機会になればと思っています。児童館や動物園などで読み聞かせを行い、その後簡単なクイズを用いてイヌワシの生態について紹介しています。



#### 4. 博物館連携活動

2016年度から博物館のボランティア活動をおこなっています。さまざまな専門家の環境教育活動、普及活動に直接触れることで自分たちの活動をより良いものにしていこうと考えています。



#### 5. ビオトープの再建

大学キャンパス内に現在使われていないビオトープの設備があり、このビオトープを再建して地域の方々や子ども達といきものを観察できる場所を作りたいと考えています。今年の4月から本格的に整備が始まります。具体的な工程や、どんな生き物に来てもらいたいかな等を協議しながら、大学内、地域での憩いの場となるように活動を進めていきたいと考えています。



#### 6. その他の活動

折り紙を使った活動や、私たちの通う大学がある姫路市内を拠点とした活動、保育園のビオトープの整備などさまざまな活動に参加させていただき、また、内部外部を問わず勉強会などを開くことで、自分たちの活動の向上を目指しています。

